



講演会が昭和区
の南山中・高校男子部
であり
写真、千人を超え
生徒らが耳を傾けた。

「薬物は危険」 夜回り先生講演

南山中・高男子部

「夜回り先生」として知られる水谷修さんの

をたたえる碑文が六面の一八六七年に建立。張藩の漢学者らが携わ

協会の書道部会会員ら

で展示へ

んだ。十人ほどが足場の紙をぬらして碑面にんぼで打って文章を写合わせて作業を見守る

水谷さんは繁華街で知り合い、助けた「教え子」との経験を交え「薬物は危険。悪の誘いは親や教師がいない時を狙ってくる。君たちだけで断れるか」と呼び掛けた。

また「自分の命、人生は自分のもの」という考えを水谷さんは否定し「命は預けられ、託されたもの。長い歴史の中で命の糸をつなぐために自分の命を捨てた人たちもいる」と戦争を引き合いに、次に引き継ぐ責任があると強調した。